

私の大好きな門川町

門川小学校 五年 池田 葉月

みなさんは、門川町のすばらしいところをいくつ知っていますか。

私が知っているのは、カンムリウミスズメがいる、枇榔島があることです。これまでの学習で、一番心に残ったことは、カンムリウミスズメが春になると姿を現して、ゴールデンウィークあたりにはいなくなることです。絶滅の危機にさらされているカンムリウミスズメですが、毎年枇榔島に来て、たくさん卵を産めば、絶滅しないですむと思います。そのためには、自然環境を守ることが大切です。

私が国語で学習した「固有種が教えてくれること」の中で、動物を守るために、住んでいる自然環境を守ることが大切であると述べられていました。門川町の海や枇榔島を守る活動が続けることが大切であると考えました。カンムリウミスズメは、落ちているゴミを食べて亡くなってしまうこともあります。私は、ゴミを拾うだけでなく、ゴミを捨てないことも大切にしていきたいです。

門川町のすばらしいところは他にもあります。それは心の杜や、海浜公園プールです。

私は、心の杜の展望台で、家族と写真を撮ったことが一番の思い出です。門川町の街並みや海が見えて、「ここで撮りたいね。」と話して、素敵な景色をバックに撮ることができました。

公園は、遊具が多くて楽しいです。特に子どもだけでなく、親子で楽しむことができる遊具があります。私が遊んでいる時も、幼稚園生が楽しそうにブランコやすべり台をしていたり、親子でロープの遊具を登っていたりしていました。

また、海浜公園のプールは、ウォーターライダーが一番のお気に入りです。最初に行ったときは、怖くてすべれませんでした。が、友達と一緒に行ってくれて、「大丈夫だよ。怖くないから。」

と、励ましてくれたおかげで、ウォーターライダーを何回もすべれるようになりました。ここには、小さい子どもが遊べるプールもあります。そして、安全に遊べるように、いつも監視員さんが見守ってくださっています。

このように、門川町には、親子で遊べる場所が多いと感じます。大人から小さな子どもまで充実した時間が過ごせるのは、門川町のよさであると思いました。

ここで、私が通っている門川小学校の紹介も少しさせてください。門川小学校は、「汗いっぱい 心いっぱい 知恵いっぱい」を合言葉にしたすばらしい学校です。三階や屋上避難所からは、きれいな海の景色が見えます。私の大好きな門川の海です。

門川小学校のよさは、あいさつやボランティアに進んで取り組むことです。私も「朝のあいさつ運動」に取り組んだことがあります。最初は、「めんどろうだな。」「嫌だな。」という気持ちがありました。しかし、

「おはようございます。」

と、大きな声であいさつをしたときに、みんながあいさつを返してくれると、「やってみてよかったな。」と思います。また、六年生が、毎朝ボランティアで、落ち葉を集めています。私も六年生になったら、学校をきれいにすることができたいです。

次に、元気のよさも門川小学校のすばらしいところです。外で元気に遊んだり、友達と笑顔で会話をしたりすることが多いです。授業になると、気持ちを切り替えて学習をします。そのようなメリハリが私たちのよさです。

このような、すてきな門川町をさらによくしていくために、私が考えたことが、二つあります。

一つ目は、「ごみがゼロの町、門川町」です。残念ながら、私たちの遊ぶ公園や通学路にごみが落ちていることがあります。私は、自分でごみを拾うだけでなく、多くの人にポスターや放送で呼びかけて、ごみを拾う人やごみを捨てない人を増やしていきたいです。

二つ目は、「豊かな自然を受け継ぐ門川町」です。人もカンムリウミスズメも、他の動植物も豊かに育つことができる環境を守るために、これからも自然環境について学んだり、それを守る方法を友達と話し合ったりしていきたいです。

私の夢は、困っている人や、勉強が分からない人など、誰にでもやさしくできる人になることです。そして、小学校や中学校で、今努力している卓球を続け、門川町の代表として、宮崎県で一番になりたいです。

また、将来は、ここ門川町で飲食店を作って働きたいです。

門川町の良さやおいしい食べ物を紹介しながら、私のふるさと門川町を大切にしていきたいと思っています。